

番号	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-6	数学Ⅱ	2	S	4	必修

何を学ぶか

- ・数学Ⅱは、方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分積分について学びます。
- ・定理や公式を証明し、それらを演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得と問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、それらを活用する態度を育成します。
- ・数学的な考え方や論理的思考力を養います。

学習方法

- ・予習は、教科書に目を通し、例題の解法についての理解に努めます。
- ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは、担当の先生に質問してください。問題集の類題を解くと、さらに理解が深まります。
- ・毎日続けることが大切です。

評価方法

- ・定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度、課題等の提出状況、授業中の取り組み状況を中心に知識・理解・興味・関心・意欲等総合的に評価します。

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
数Ⅱ	方程式・式と証明	■	■										■	■	■																							
	図形と方程式	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■																							
	三角関数	■																																				
	指数・対数関数	■																																				
	微分と積分	■																																				

番号	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-7	数学Ⅱ	2	A	4	必修

何を学ぶか

- ・数学Ⅱは式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分と積分を学びます。
- ・定理や公式を証明し、それらを使って具体的な問題に応用していきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を育てます。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

- ・予習:教科書に目を通し、例題の解法についての理解に努めます。
- ・復習:習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。
理解できないところは、担当の先生に質問してください。
- ・毎日続けることが大切です。毎日の学習の目安:予習(30分)、復習(30分)
- ・進学に向けた取り組み(補習・合宿・模試等)に、積極的に参加してもらうことで実践力を高めま

評価方法

- ・定期考査・課題テスト等による到達目標の達成度、課題等の提出状況、授業の取り組みを中心に知識・理解・興味・意欲等を総合的に評価します。

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
数学Ⅱ	式と証明	/	■										/	/	/											/	/							/	/		
	図形と方程式	/		■	■	■	■					■	/	/	/											/	/							/	/		
	三角関数	/																	■	■	■	■	■				/	/							/	/	
	指数関数と対数関数	/									■	■	■	■	/	/	/										/	/							/	/	
	微分と積分	/																																		/	/
	数学Ⅱ演習	/																																		/	/

番号	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-9	数学B	2	A文	2	必修

何を学ぶか

- ・数学Bは平面上のベクトル、空間のベクトル、数列を学びます。
- ・定理や公式を証明し、それらを使って具体的な問題に応用していきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を育てます。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

- ・予習：教科書に目を通し、例題の解法についての理解に努めます。
- ・復習：習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。
理解できないところは、担当の先生に質問してください。
- ・毎日続けることが大切です。毎日の学習の目安：予習(30分)、復習(30分)
- ・進学に向けた取り組み(補習・合宿・模試等)に、積極的に参加してもらうことで実践力を高めま
す。

評価方法

- ・定期考査・課題テスト等による到達目標の達成度、課題等の提出状況、授業の取り組みを中心
に知識・理解・興味・意欲等を総合的に評価します。

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬							
数学B	空間のベクトル	/	■	■	■	■							/	/	/										/	/									/	/		
	数列	/					■	■	■	■	■	■	/	/	/	■	■	■							/	/										/	/	
	数学B演習	/											/	/	/				■	■	■	■	■	■	■	/	/	■	■	■	■	■	■	■			/	/

番号	科目名	学年	コース・類	単位数	備考
2-12	化学基礎	2	S・A	3	必修

何を学ぶか

- ・物質の構造・性質や反応などから自然科学の基本的な知識・概念や原理・法則を学ぶ。
- ・学んだ知識などを生かして物質の利用法や社会での活用の意味などを学ぶ。

学習目標

- ・化学的な事物・現象について、観察・実験を行う。
- ・自然に対する関心や探究心を高める。
- ・化学的に探究する態度や能力を深める。
- ・基本的な概念や原理・法則を理解し、自然を化学的にとらえられるようにする。
- ・エネルギーと物質の成り立ちについての理解を深める。
- ・科学技術や自然と人間の関わりについての理解を深める。

学習方法

- ・教室授業とともに、実験を通して物質の性質や化学変化の理解を深める。
- ・身の回りの自然に興味・関心を持ちながら学習する。
- ・問題演習を通じて計算法・理論を身につける。
- ・定期考査の他、適宜小テストを実施して理解度を確認する。

評価方法

定期考査を中心に、実験レポートなども含めて知識・理解・興味・意欲等を総合的に判断する。

5月

7月

10月

12月

3月

○は定期考査実施予定

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
化学基礎	化学と人間生活	■	■																																		
	物質の探求				■	■	■																														
	物質の構成粒子							■	■	■																											
	物質と化学結合										■	■																									
	物質と化学変化																																				
	酸と塩基																																				
	酸化と還元																																				

番号	科目名	学年	コース・類	単位数	備考
2-20	美術Ⅱ	2	S文・P	2	選択必修

何を学ぶか

- ・表現基礎〈デッサン・ドローイング〉
- ・発想を構成する力〈アイデアスケッチ・エスキス〉
- ・表現技法〈多様な技法・豊かな表現を追求する〉
- ・鑑賞〈様々な作品や伝統文化に接することで、美的なものに親しむ心と眼を養う〉

学習目標

- ・素直な気持ちで、何を表現したいのか明確にする。〈独創性(オリジナリティー)を追求〉
- ・豊かで自由な表現力を養う。〈様々な表現技法を学び、新しいものに挑戦し、感性を豊かにする〉
- ・真摯に作品に取り組み、できる限り時間をかけて丁寧に仕上げる。〈表現力を深める〉
- ・基本的な表現技法をしっかり身につけ、生涯、趣味として生かせる技術を身につける。
- ・作品の表現と鑑賞を通して、美術への愛好心を養い、伝統文化への理解を深める。

学習方法

- ・表現基礎・ものの構造を捉える〈「表情のある手」鉛筆デッサン・作品の原画をドローイング〉
 - ・発想を作品の原画として構成する〈イメージを明確に◎資料収集◎アイデアスケッチ・エスキス〉
 - ・絵画技法〈アクリル絵具の基本技法・表現方法を学ぶ。「日本の美しい風景」をテーマにする。〉
 - ・デザイン〈機能・用途に応じた発想・構成力を学ぶ。図柄とレタリングのレイアウトを工夫。〉
- 「CDジャケットデザイン」の制作
- ・彫塑〈立体の基本・粘土の特性・工具の技法〉「フィギュア・面・フレーム・その他から選択」
 - ・あらゆる機会を通して様々な作品を鑑賞する。〈映像資料の活用〉

評価方法

- ・すべての作品を完成させ提出することが原則。
- ・その上で、「完成度・時間をかけた丁寧な仕上げ」「独創性・表現の工夫」などを総合的に判断する。
- ・出欠遅刻過多や授業態度も点数化はしないが、評価をする上で考慮する。

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
美術Ⅱ	構想表現	■	■										■	■	■																						
	アクリル画	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■																						
	デザイン	■																		■	■	■	■	■	■	■	■	■									
	彫 塑	■																																			
	鑑 賞	■												■	■	■																					

